

----- CONTENTS -----

- 東西計コン合同研修会-----①  
味の素川崎工場
- 会員に望む-----①
- 役員会報告-----①
- 第2回技術研修会報告-----②  
メタボリックシンドロームの予防と対策
- 計量器の歴史-----②  
ガラス製温度計
- 会員の広場-----②  
会員紹介・川柳・イロハかるた

## ☆☆ 東西計コン合同研修会を実施 ☆☆ 味の素川崎工場で研修・見学、横浜で懇親

平成18年度東西計量器コンサルタント合同研修会を東京都計量器コンサルタント協会が主催し、関東側が23名、関西側が14名と合計37名が参加して10月26日に実施しました。

今回は味の素川崎工場を見学したあと、横浜中華街で懇親を深めました。

当日は、関東側のメンバーを乗せたバスが上野駅前を出発し、昼ごろ関西側のメンバーと合流、午後1時過ぎには味の素(株)川崎工場に到着しました。

味の素(株)川崎工場は、1914年(大正3年)に創立し、地面積約10万坪(約330,000m<sup>2</sup>)の広大な土地に大きくは2つの工場と10の研究所・センターがあり、従業員数約532名(2004年1月現在)が働いている。

主な生産品目は、味の素、中華あじ、ほんだしかつおだし、Cook Do各種、Cook Doオイスターソース、丸鶏使用がらスープ、核酸、味液ほか各種業務用調味料、アミノ酸(食品用・香粧品用・医薬品用)などです。

東京ドーム7個分の敷地内の各工場をバスで巡り、実際に製品が袋詰めされている工程などを見学。資料展示室には味の素(株)の創業当時の貴重な資料や懐かしい看板、パッケージ等が展示されていました。

同工場をあとにし、横浜中華街にある重慶飯店で懇親会を開きました。

吉川和男氏の司会で始まり、岩下貞治東京都計量器コンサルタント協会会長から、あらためて歓迎の挨拶あり、関西を代表して澤井聖典氏(沢井計量器社長)が謝辞を述べました。大森健次氏の音頭で乾杯し、お互いの懇親を大いに深めました。

味の素工場説明棟  
正面(写真左)  
説明棟内(右上)  
資料展示室(右中)  
重慶飯店(右下)



### 会員各位に望む

会長 岩下 貞治

平素より当会の事業運営にご協力いただいている会員諸氏に厚くお礼申し上げます。

ただ残念なことは、数年間も研修会、見学会、総会等にも参加していない会員がいることです。

計量器コンサルタントは、計量機器のスペシャリストとしてユーザーの信頼を得るための資質向上が必要で、資格を取得して終りではないのです。資格取得の講習会に参加したときの情熱の数分の一でも行事参加に向けていただきたい。

役員諸氏は会員と共に計量器に関する幅広い知識の習得に役立つことを願って各種事業を企画開催しており、行事に対して参加人員が少ないことを深刻に受け止めています。

今後は資格の更新時に研修会参加を要件とする等、資格付与団体の(社)日本計量振興協会と当会で協議することも検討していることを付記しておきます。

### <平成18年度役員会報告>

- ・第1回 2月 3日(金) 14名 17年度事業・会計報告作成  
18年度計画・収支予算策定、総会準備、その他
- ・第2回 3月28日(火) 15名 18年度役員分担構成、  
技術研修会・研修見学会企画案審議、その他
- ・第3回 6月5日(月) 14名 第1回研修見学会詳細審議
- ・第4回 8月18日(金) 14名 第2回研修見学会企画案審議
- ・第5回 10月13日(金) 13名 技術研修会企画について  
東西計コン実施について、リブラ第5号発行について  
精度確認事業、出前計量教室参加について

# 平成18年度第2回技術研修会開催

## 「メタボリックシンドローム」の予防と対策

講師: 本田由佳氏 (株タニタ 開発部)

東京都計量器コンサルタント協会が主催する平成18年度第2回技術研修会が10月19日(木)午後1時30分より、東京都計量検定所会議室で開催されました。

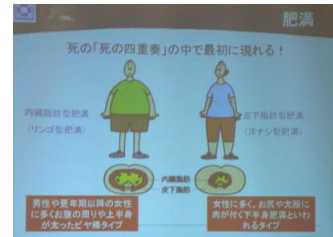
今回のテーマは「メタボリックシンドローム」と、内臓脂肪もはかれる「体組成計」の紹介とデモ実演、メタボリックシンドロームの予防と対策について研修した。



(株タニタの協力により同社の開発部本田由佳氏による講演が行われ、メタボリックシンドロームとは何か、その対応策と管理の方法、またこれの発見と対策に重要な健康管理上の人体内部の組成パラメータを計測する機器の技術解説が行われました。

「メタボリックシンドローム」は最近急速に関心が高まり、一般マスコミ等でも取り上げられる機会が増えており、計コンとしてもその情報を学ぶことができ販促にもつながると参加者の反応もよく熱いものがありました。

今回はデモ機も含め複数台展示され、実際に参加者が計測することができ好評でした。



講演する本田氏とそれを聞く会員(写真左) 体組成計MC-190(写真中)

### 計量器の歴史④——ガラス製温度計

ガラス製温度計の感温液は大気圧を利用して封入します。写真でその方法を説明しますが、ここでは既に感温液(赤色)が封入されています。

ガラス製シリンダー内に、ガラス製温度計球部(感温液部)を上にし、下部には感温液(ここでは赤液がみどりの瓶に入っています。)につけて置きます。この温度計下部は感温液の通る毛細の孔が空いたままになります。シリンダーは上部に栓をして圧力計(減圧を測るもの)と空気の取り出し用穴から赤色のチューブが真空ポンプへつながっています。

感温液未封入の温度計を写真のように逆さまに設置し、栓をして真空ポンプでシリンダー内の空気を抜きます。そうすると、シリンダー内の空気と共に温度計球部の空気も抜かれます。シリンダー内の圧力が真空になりましたら、吸引を止め、逆に空気をシリンダーへ戻します。そうすると、大気圧に押された感温液は真空な球部へ入っていきます。

この写真は説明用に作ったもので、実際にはこのシリンダーよりもっと大きなガラス瓶などを使用し一度に多数の温度計に封入します。

水銀も同じ方法ですが、真空中での水銀は760mmしかあがりません。そこで、全長の長い温度計は傾斜して高さを760mmにならないような方法で調整して封入します。

身近にあるガラス製温度計について多少なりともご理解を頂ければ幸いです。  
日本硝子計量器工業協同組合 理事長 横田賢次郎



## 会員の広場



- ①氏名 横須賀哲雄
- ②所属 (株)メジャーテックツルミ
- ③年齢 59歳
- ④会員歴 1年
- ⑤趣味 写真、VTR、音楽鑑賞、アウトドア おやじギャグ
- ⑥計量に対する資格を持ってなかったのをお客様の信頼を得る最短のものと思います。

⑦ひとこと 質量等、はかることの工夫をずっとやって来ました。回路図のないもの、検査方法の決めずらいものもありました。お客さんの立場、納入する業者の立場、両方の気持ちで、はかりを扱っていきたいと思います。

俳句・川柳  
募集中

### 五・七・五 で遊びませんか

脱メタボ思えど飯のうまさかな (彩の王子)  
今はまだ大手ばかりに好景気 (待ち人)  
体重と体脂肪率ともに伸び (ためし秤)  
メタボってどんな症状? 病気なの? (OB)

平成計量管理  
「イロハかるた」  
by横須賀健治

ソ) その行為、今一度の確認を  
ツ) 鶴の一声、力を合わせ目標に  
ネ) ネタ探し、笑顔探しの小集団  
ナ) なるほどと思う品質、飯の種  
ラ) ランダムにデータ採れよう量目は